

2004年

10月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 134



「風にそよぐ葦」(海から5km地点の多摩川)：佐藤 尚 画

もくじ

- 2 生涯学習ア・ラ・カルト
- 4 特集 インタビュー 小川 典子さん
- 6 ぐるーぷBOX/いま地域で学校で
- 7 まち・ひと・多面体/くらし百景 俳壇
- 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085

TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) Eメール: stage-up@kpal.or.jp

●アカデミー●

アカデミー受講生による自主企画講座
「かわさきを知るPart2」報告

かわさき市民アカデミーでは、地域を探求する「川崎学」の講座がⅠからⅣまで開設されています。「かわさきを知る」の講座は昨年もアカデミーの受講生の自主企画講座として開催され、川崎学の横断的な入門講座として、市民主体のまちづくりについて学びました。今年もその続編として「Part2」が8月下旬から9月上旬の5日間開催され、約50人の市民が参加しました。今回は歴史と自然にスポットをあて、多摩川を中心に市内を巡りました。ここで参加者の感想を紹介します。



幸区の夢見ヶ崎を歩き講師の話
聞く参加者たち

「かわさきを知るPart2」に参加し学んだこと

法政大学・キャリア体験学習生 辻 英雄

私は、リカレントな考えで大学に入学し、生涯学習について学んでいます。このたび将来の就業体験として、本講座に参加させていただきましたが、このコースが受講生の自主企画講座と聞いて、市民アカデミーの活動レベルの高さにも驚嘆している所です。

「百聞は一見に如かず」と言われますが、本講座は、真にこの精神に立脚したカリキュラムで、川崎の歴史と自然について体系的に大変よく理解できるコースでした。

5日間のコースの初日に、川崎の歴史的、文化的な生い立ちとそれを取り巻く自然環境の現状を、著名な講師陣の巧みな話術により市民の目線での解説をいただきました。

川崎の基礎知識を事前学習のあと、4日間で市内の実情を南から北までの主要拠点8カ所を、時には歩きながら、ある時は立ち止まり見聞して多くのことを確かめ吸収することができました。

学習で大切な事は、単に知識を蓄積し物知りになる事ではなく、吸収した知識を身の回りの行動に応用実践する心の変化を興す事であるといわれます。それぞれが自分の学習結果を、出来る所から出来る範囲で積み重ねていくことが、行動の変容に結びつくのではないかと感じます。それがひいては地域の活性化と生き甲斐のある生涯学習社会の成長に通じていくと思いました。

生涯学習ア

●たのしむ●

平成16年度第3期
生涯学習プラザ「陶芸教室」受講者募集

陶芸は、「作る楽しみ」「観る楽しみ」「使う楽しみ」と、3つの楽しみを体験することができます。「うまく作ることより楽しんで作ろう」の気持ちで取り組むことにより、ストレス解消にもなります。自分で作った「オンリーワンの器」に、料理を盛り付けたり花を生けたりして、暮らしに彩りを添え、潤いのある日々を送ってみませんか。

- 【期 間】「水曜手びねり」及び「水曜ロクロ」コース(全12回)
12月1日～3月16日(12/29,1/12,2/23,3/9を除く)
「土曜手びねり」及び「土曜ロクロ」コース(全12回)
12月11日～3月19日(1/1,2/26,3/12を除く)
- 【時 間】手びねりコース 9:30～12:30
ロクロコース 13:30～16:30
- 【対 象】18歳以上の市内在住・在勤者。ロクロコースは手びねり経験者に限る。
- 【定 員】手びねり各15人、ロクロ各10人(応募者多数の場合抽選)



- 【費 用】手びねりコース27,500円(材料費・焼成料含む)
ロクロコース 33,500円(材料費・焼成料含む)

【申し込み方法】11月1日(月)必着で往復はがきに、プラザ陶芸「水曜手びねり・水曜ロクロ・土曜手びねり・土曜ロクロ」の受講したいコース名を記入し、〒・住所・氏名・☎を明記の上、下記あてにお送りください。

【申し込み先】〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1
川崎市生涯学習振興事業団
学習推進室「陶芸教室」係

問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5894

ラ・カルト

●まなぶ●

パソコンセミナー 受講者募集

講座名	難易度	講座No.	開催日	受講料	申込締切
パソコン入門	☆	11-A	11/1(月)・2(火)	13,000円	10/12(火)
年賀状作成	★★	11-B	11/4(木)	5,000円	10/14(木)
ゆっくりじっくり パソコン セミナー	☆	11-C	11/9(火)・18(木)・ 25(木)・26(金)・ 12/3(金)[全5日間]	25,000円	10/19(火)
ステップアップ	★	11-D	11/11(木)・12(金)	13,000円	10/21(木)
WORD初級	★★	11-E	11/15(月)	6,500円	10/25(月)
デジカメ画像編集	★★	11-F	11/19(金)	5,000円	10/29(金)
EXCEL初級	★★	11-H	11/24(水)	6,500円	11/4(木)
年賀状作成	★★	11-I	11/29(月)	5,000円	11/8(月)
名刺作成	★★	11-J	11/30(火)	5,000円	11/9(火)

◆会場…川崎市生涯学習プラザ内 3階研修室

◆受講時間…9:30~16:30 (昼休憩1時間あり)
定員は各15人。

◆対象…18歳以上。11-C・F・Jは概ね50歳以上

◆申し込み…はがき・Fax・電話で。希望講座No.、〒、住所、氏名(ふりがな)、☎、Fax、年齢、受講目的を明記。

〒211-0064 中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習振興事業団

学習推進室「パソコンセミナー」係

問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5894/Fax(739)0085

●さがす●

講座・催し物情報を活用しよう

市内の公共施設(区役所、市民館、公園事務所など44ヵ所)に設置されている「ふれあいネット」では、施設の利用予約だけでなく、「情報の提供」を検索することにより、各種の学習・生活情報を得ることができます。

「情報の提供」の中の「講座・催し物情報」や「電子掲示板」を検索すると、パソコンセミナー、ホームヘルパー養成、中国語やハンゲル等の講座、スポーツ教室などさまざまなジャンルの情報が引き出せます。また、JR川崎駅西口にオープンした「ミュージア川崎シンフォニーホール」の最新コンサート情報も得られます。

「ふれあいネット」の操作は、そばに備え付けてある「ガイドパネル」を見ながら画面をタッチしていけば、容易にできます。また、必要な情報を印刷することもできますので、是非ご利用ください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

アカデミーと色彩

活力の源は真向法体操

岡本 善三さん

岡本善三さんは1993年に造船会社を退職し、94年に開校したばかりのかわさき市民アカデミーに入会されました。小さいころからモノ作りが好きな岡本さんは、芸術コースを選択し美術の学習をはじめました。「会社一辺倒で、地域のことを何も知らなかったので入会するのに勇気がいりました」と当時を振り返ります。穏やかな風貌とゆったりとした話し方の岡本さんのお人柄に魅了されます。目はキラキラと輝きとても73歳とは思えません。



2年後の96年、ともに学んだ仲間たちとアカデミーの目的の一つである「学習の成果と社会的経験を生かした地域貢献」を実践しようと「かわさき市民フロンティア」を結成し、初代会長となりました。

さて岡本さんと真向法との出会いですが、定年間近の92年、麻生スポーツセンターでの3ヶ月間の講習でした。この体験後に、佐藤良彦先生、足立義昭先生の指導の下に自主グループを発足、本格的に鍛錬することになりました。そして「フロンティア」でも健康づくりの一環としてヨガ・太極拳と共に真向法を取り上げました。それが「向河原フロンティア真向法教室」として開花しました。また「麻生真向会体操クラブ」「ヨネティ真向法教室」「栗平真向会」などの設立に尽力、活動の輪が広がっています。

真向法とは、わずか4種類の動作で、しかも朝夕数分続けられれば健康が得られるという体操です。畳一畳分のスペースがあれば自分でいつでもどこでも簡単にできます。決して無理はせず、自分のペースを守り続けることによって、全身が柔軟になり若さを保つことができます。

現在、岡本さんは、かわさき市民フロンティアの顧問を務められる一方、麻生真向法協会の会長や民生委員として地域の中でも積極的に活動しています。八面六臂の活躍が続けられる岡本善三さんの活力の源は、真向法で鍛えられた柔らかかな体と頭にあるようです。

(かわさき市民フロンティア 山根由暉 記)

このコーナーは「かわさき市民アカデミー」の修了生による組織で地域貢献を目的とした「かわさき市民フロンティア」が担当します。

特集

インタビュー

ピアニスト 小川 典子 さん

会場で初めて出会うピアノに演奏者が歩み寄る。しなやかに腕が揺れる。鍵盤の上をすべるように手が舞う。小川さんの指先から紡ぎだされるドビュッシーの「アラベスク」。その透明で流麗な演奏に聴衆はうっとり。一転して、リストの「口短調ソナタ」では、鍛え上げられた10本の指が縦横に鍵盤上をかけめぐり卓越したテクニックを披露。気迫に満ちた重厚な響きが心を揺さぶる。

川崎生まれ川崎育ちの小川典子さんは、20年程前にニューヨークのジュリアード音楽院へ留学。1987年、イギリスのリーズ国際コンクールで3位に入賞し脚光を浴び、いまや世界を舞台に活躍するピアニストです。空の旅が多くても「飛行機が離陸する前に寝てしまうんです」という疲れ知らず。小川さんに、コンサートに寄せる思いや「ミュゼザ川崎シンフォニーホール」のアドバイザーとしての抱負などを伺いました。



一瞬の響きに心をこめて

—小川さんはピアニストとしてロンドンと東京を拠点に活躍していますが、川崎生まれの川崎育ちだそうですね。小さいころはどんなお子さんでしたか。

小川 母がピアノ教室を開いていたので、歩き始めるころからピアノで遊んでいました。4歳から先生についてレッスンを始め、小学校5年生の時から高名な井口愛子先生に教えていただきました。先生のレッスンは平日の午前中にありましたので、学校は欠席が多かったですね。

先日、古市場小学校の時に担任だった近藤好美先生にお会いしましたら、私は学校に来ると、とにかく張りきる子どもで負けず嫌いだったと言われました。当時、感じたことを絵日記にして提出する「季節カード」というのがありました。誰がたくさん書いたかを先生がグラフにして掲示していたのですが、私はクラスの3番以内に入っていないと許せなかったですね。学級会でも「〇〇君の言っていることは間違っていると思います」と口で男の子を言い負かしました。保護者参観日の時にも得意になって言って、あとから母に「女の子があんな口を利くものではありません」と叱られました。

—中学校時代はどうでしたか。

小川 中学生になった時、多摩区に引っ越して生田中学校に通いました。やはり学校は欠席が多かったですね。そのころはもう自分の進む道は音楽だと決めていましたから、体育の

授業の時は、とにかく手を怪我しないように気をつけました。中学1年の担任はバレーボールの指導で実績のある先生でしたので、私みたいなのが来て面食らっていたと思います。ただ、道を極めた先生なので理解していただきましたね。

友達との関係は、多感な時期ですので泣いたりぶつかったり揺れたりいろいろありました。例えば、私は手のことを気遣って球技大会には出られない。そうすると「参加するだけでもポイントになるのに、お前が出なかったから負けた」と男子生徒に責められました。私の場合、受験も音楽の方向と決めていましたので、友達とは世界が違い話題も合わないことがありましたが、助けてくれる友達もいて、自然に仲間意識もできました。

—中学の時に、オーケストラと共演しているそうですね。

小川 中学校2年生の時でした。初めてメンデルスゾーンのピアノ協奏曲を東京交響楽団と演奏しました。その東京交響楽団が、今ミュゼザ川崎をフランチャイズとして活動し、私もホールのアドバイザーとして関わることになりました。本当に縁というほかありません。とても嬉しいです。

—ところで、プロのピアニストになるきっかけは？

小川 本当の意味でのプロデビューは1987年、イギリスのリーズ国際コンクール入賞がきっかけですね。国際コンクールのほとんどは1位の人のみが注目されますが、このリーズ国

◆お知らせ◆

小川さんが企画した「オール・ピアノコンチェルト」は10月17日(日)14時、「ジェイミーのコンサート」は11月18日(木)11時、ミュゼザ川崎市民交流室

際コンクールは、1位にならなくても、演奏を聞いた人が、自分がいいと思うピアニストに直接連絡ができるという特徴があります。私は3位だったにもかかわらず、「弾いてください」という依頼がきました。「この演奏会が終わったら日本に帰ろう」と思っていると、また次の演奏依頼が来るという状態でした。それが今も続いているという感じでしょうか。

— 昨秋行われた川崎市市民ミュージアムでのコンサートに伺いました。小川さん自身が曲の解説をしてくださり、温かい雰囲気でした。いつもお話をしながら演奏するのですか。

小川 どの演奏会でもそうしているわけではありませんが、私が聴衆の立場だったら、その演奏家の人となりが少しでもわかると嬉しくなります。だからそういうスタイルがあってもいいのではと考えたのです。演奏する私自身もお話することで気持ちが落ち着き、お客様が恐怖でなくなります。音楽によるコミュニケーションはもちろんですが、言葉での直接的な語りかけで、よりわかり合えると思います。

— ステージに立つ時は緊張しますか？

小川 私はとても緊張します。あの緊張は直らないと思います。自分がどういう時に緊張するのか、どうにも予測がつかないのです。余裕をもってステージに立ったのに、鍵盤を見た途端、震えることもあれば、楽屋で口から心臓が飛び出そうなくらいガタガタしていたのに、ピアノのイスに座った途端に落ち着くということがあったり…。その日の体調と準備がどの程度できているか、精神状態、会場の雰囲気、いろんなことが影響していると思うのですが「こういう時に緊張す



気持ちを集中し、最初の音を弾く
小川さん川崎市市民ミュージアムにて

る」という法則がつかめていません。舞台に出て一発勝負をするということは、恐怖でもあるということです。演奏した後には不完全燃焼にならないようにするには「準備するしかないね」とピアニスト仲間と話しています。もちろん100点満点という演奏はありません。音楽という時間芸術では完成品はないです。合格、不合格の基準が自分の中にあって、プロである以上、そのボーダーラインを高い所に置いているのです。音楽は抽象的なもの、しかも一瞬にして消えていくものです。だからこそ瞬間の響きを大切に、お客様に喜びや興奮、安らぎなどを感じていただけるようにと思っています。

— 小川さんはどんな音楽を目指しているのですか。

小川 私の場合は、音を通して深いメッセージを訴えたいというよりは、ピアノの音を楽しんでいただきたいと思っています。

ます。それが得意だと思っています。その会場にある楽器、その日初めて出会ったピアノと私がリハーサルで知り合うわけです。そのピアノと対話し持っている可能性を、私を通して音にしてピアノの響きを楽しんでいただく、というのが私の演奏スタイルですね。そういうことが得意かなと思います。ピアノが壊れていたり、音のピッチが狂っていたりというメカニックがおかしい場合は直さなければなりません、それ以外の条件にはこだわりません。会場が音楽専用ホールでなくてもピアノさえあればどんな空間でもOKです。たとえ掘っ立て小屋であっても教室であっても。ポータブルなスポットライトを当てたり、花を置いたり、ちょっとした工夫でおしゃれな音楽会場になります。もちろん、究極のもの、上限のものを求めるといことも大切ですが、私は演奏者ですから「弾いてください。聴きたいです」と言ってくだされれば、どこへでも行きます。



ミューザ川崎シンフォニーホールの客席にて

— 「ミューザ川崎シンフォニーホール」のアドバイザーとしていろいろ企画をされているようですね。

小川 10月17日に初企画「オール・ピアノコンチェルト」を行います。一緒に演奏してくださる方は、イギリスの最先端の音楽家キャサリン・ストットさんと東京交響楽団です。まずはこの演奏会を成功させたいと思っています。

それから11月には昼11時にミューザの市民交流室で「ジェイミーのコンサート」を開催します。これは、夜の演奏会には行きにくい方々のために、プロの音楽家の演奏を楽しんでいただくというものです。このコンサートは、イギリスでの私の体験をもとにした企画です。イギリスで下宿した家に、強烈な個性をもった自閉症のジェイミーという男の子がいました。彼と一緒に暮らした2年の間に私は多くのことを学び、そして彼の母親の心情も理解することができました。そんな体験から、いろんな事情で夜に外出できない方々に、音楽で心なごます時間を提供できればと、私の情熱一つで発案したものです。このような活動が地域に根づき、さまざまな音楽活動に発展していけばと思っています。

小川 典子 さん (おがわ・のりこ)

ピアニスト。川崎生まれの川崎育ち。古市場小学校、生田中学校を卒業。東京音楽大学付属高校を経て、ジュリアード音楽院に学ぶ。1983年日本国際音楽コンクール2位入賞。87年渡英。リーズ国際コンクール3位入賞。以後、ロンドン、東京を拠点に活躍。日本の主要なオーケストラをはじめ、海外のオーケストラや指揮者との共演も多い。2001年、英国の実力派ピアニスト、キャサリン・ストットとピアノデュオを結成。欧米、アジア、南アフリカなど国際的に活躍中。99年、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。03年、ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザーに就任。

ぐるーぷBOX

それぞれのペースで頭の体操

「もう一回算数・数学」の会

「86400秒は何日?」「12の約数は何個?」など31問の「さんすう・すうがくカレンダー」の問題に挑戦しているのは「もう一回算数・数学」の会(上口千恵子代表)の会員16人です。

会の設立は1997年10月。高津市民館主催の成人学校「もう一回算数・数学」を修了した有志で発足しました。

会員は、子どものころに苦手だった算数・数学に再挑戦している人、数学がもともと好きな人、むずかしい問題ができるとかっこいいと思っている人などさまざまで、年齢も30代から80代と幅広く、70歳以上の方が4人もいます。

問題を作成し指導するのは、数学の本だけでも500冊ほど持っているという代表の上口さん。問題を解く力は会員まちまちなので、小学校高学年レベル、中学生レベル、高校生レベルと多種類用意しているそうです。上口さんは、ポイントをボードに書いて説明したり、机の間をまわって質問に答えたりしています。考えあぐねている人に「ちょっとこれは無理かな?こっちやってみて」と明るく声をかけていました。

黙々と問題を解いている70歳代の男性は「何よりも考えることが好きです。一人で出来るしとても面白い」とのこと。また

「算数は苦手ですが、仲間と会うことが楽しみです」という方もいました。

上口さんは「この会では月2回の集まりの時だけ勉強する人やお孫さんから参考書を借りて勉強する人など、それぞれのペースで気楽に学んでいます。数学は奥が深いので少しずつハイレベルな問題にもチャレンジしていきたいですね」と話していました。

◆ 活動日：原則として第1・2火曜日10時から12時

◆ 場 所：高津市民館・てくのかわさき

◆ 連絡先：☎・Fax044(866)4081の上口さん



いま地域で学校で

「デイサービスセンターコスモスの家」と交流

—有馬小学校「わくわくプラザ」—

放課後や土曜に学校施設を利用し、子どもが自由に過ごす「わくわくプラザ」が市内の全小学校に設置され、一年半が経過しました。その一つ、宮前区にある有馬小学校(名畑辰次校長、児童数475人)の「わくわくプラザ」を訪ねました。

ここは、毎日約60人の児童が利用しています。その児童たちと共に過ごすのが、リーダーやサポーターと呼ばれる大人5人です。「わくわくプラザ」の一部屋と体育館、図書室、校庭などで活動する児童の遊びを見守ります。



この校舎の一角には、余裕教室を転用した「高齢者ふれあいデイサービスセンターコスモスの家」もあります。センターから「子どもと交流したい」という要望があり、昨秋から「わくわくプラザ」の児童との交流を週2回行っています。

取材に伺った時、1・2年生の児童がセンターのケア室に入ってきました。初めに元気な声であいさつをします。この日のプログラムはゲームです。2チームに分かれ、机の上に置かれた紙飛行機を、一人ずつうちわであおいで進ませ、スピードを競いあうものです。児童が高齢者の間に交互に入り、ゲーム開始です。ゲームの勝敗は一勝一敗となり、スタッフのリードで決勝戦を行いました。全員が身を乗り出し、大きな声で応援します。わずかな差で決着がつくと、勝ったチームは手を取り合い喜んでいました。

ゲームを終えた高齢者は「少しずつ話をしているうちに、かわいいと思うようになりました。今日は子どもと同じ気持ちになって遊べました」「私には孫がいないけれど、子どもたちと接することがとても楽しい」と笑顔で話していました。

名畑校長は「日ごろはふれあいのないお年寄り子どもたちが一緒に過ごす事は、理屈でなくその温かみは何事にも代えがたいと思います。デイサービスの方たちがこまやかに対応してくださり、とてもいいですね」と話していました。

まち・ひと・多面体

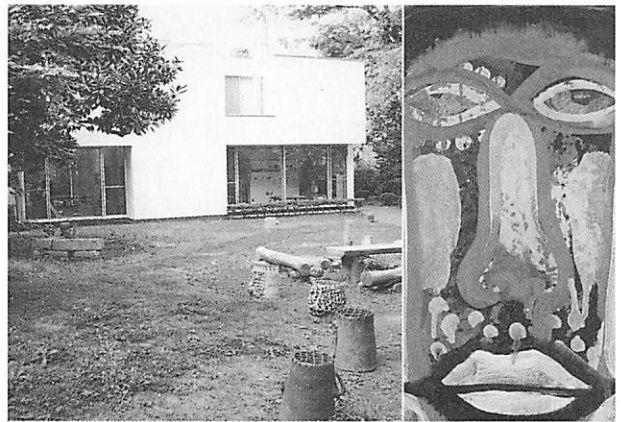
画家の生活空間で作品と交流

「中村正義の美術館」

画面からはみださんばかりの顔に思わず立ちつくす。大きな目は赤や黄の強烈な色彩で、ゆがんだ鼻や口元は激しい筆づかいで描かれている。「顔」の連作で知られる日本画家の中村正義は、1977年に52歳で亡くなるまでの16年間、緑豊かな麻生区細山に住宅とアトリエを構え過ごしました。「中村正義の美術館」(中村のりこ館長)は88年9月、遺族がその建物を美術館としてオープンしたものです。ここには氏の小品約400点が収蔵され、春と秋に企画展を開催しています。

樹木が生い茂る庭を通して玄関に至り、チャイムを鳴らして館内に入りますが、まるで友達の家を訪ねたような親しみがありません。1階の展示室は、もとは中村家の居間で、2階部分までの吹き抜けで広々として明るく、2階の展示室は家族の部屋だったそうです。ここでは中村正義が眺めた庭や愛用したいすなども見られ、画家の暮らした空間に浸りながら、ゆったりとした気持ちで作品と向き合うことができます。

同館では現在「中村正義生誕80年・秋展」を11月28日まで開催しています。秋展では、自由でおおらかな日本画を追い求めた正義の後半生の作品、特に代表作「顔」シリーズを中



心とした精力的な画業を幅広く紹介しています。他に「三島由紀夫像」「顔と裸婦」など40点余を展示中です。

中村館長は「来観者は散歩の途中に立ち寄る近所の方や遠方からいらっしゃる方までいます。地味ながらもコツコツと続けていきたいです」と話しています。

開館日は、3月～5月と9月～11月の金・土・日・祝日(夏季と冬季は閉館)。時間は11時～17時。入場料500円。交通は小田急線読売ランド前駅から京王読売ランド行きバスに乗り、細山バス停下車徒歩5分。問い合わせは ☎044(953)4936/Fax044(953)4966の同館。

くらし百景

野川句会

俳壇

- | | |
|----------------|-------|
| 武蔵野の野川住みよく通し鴨 | 宮川 豊治 |
| 山荘の玻璃をバタバタ叩く蛾よ | 長町 静佳 |
| 天瓜粉はたけば吾も役者顔 | 馬場 初枝 |
| 茗荷の子隣家が良しと垣越えて | 石山 家延 |
| 狭庭にて紫陽花満開濃紫 | 持田 初子 |
| 鉢中の桃五ヶほほ多むこと並ぶ | 佐藤よし子 |
| 夏帽子選ぶ老いても好きな色 | 安部 洋子 |
| 仕事より帰る息子へ夏料理 | 伊勢山幸子 |
| 店先の蚕豆に足止りたる | 佐藤ただを |
| 葛切りのひんやり喉越す昼下り | |
| 朝厨麦茶の香り広がれり | |
| うつそうと繁つた中に家があり | |
| 電線の井戸端会議の燕の子 | |
| 船より見し丘の兄の墓参る | |
| 水晶の腕輪冷たき大暑かな | |
| 夕立や汚れたる町洗ひけり | |
| 繋がれてもがき自縛の甲虫 | |
| 箆抜け出し燈に甲虫体当り | |

※野川句会は発足してまだ日が浅く、会員も初めて俳句を作ったという人ばかりの集まりです。例会は宮前区野川老人いこいの家で、毎月最終月曜日の午後二時より行っています。俳句をはじめてみたいとお考えの方は一度見学にお出かけください。お待ちしております。

☎〇四四(七八八)〇四七六長町

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●第10回KAWASAKIしんゆり映画祭

10月8日(金)～11日(祝)まで。会場はワーナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘と新百合21ホール。上映作品はワサウンド・オブ・ミュージック▽ローマの休日▽油断大敵▽美しい夏キリシマ▽ごめん▽深呼吸の必要など。映画監督や俳優のトークあり。前売り券は700円～1800円、チケットぴあ他で販売中。詳細は☎(953)7652の映画祭実行委員会事務局。

●ピアノサロンコンサート出演者募集

12月19日(日)13時。会場はミュージックシティ百合ヶ丘。対象は18歳以上の方でピアノトリオを中心とした室内楽のグループまたはピアノ奏者一人でも可。締切日は10月24日(日)。詳細は☎(966)5121の京浜楽器百合ヶ丘店の深瀬さん。

●ランチタイムコンサート

10月20日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は益田正洋(ギター)。曲目は「カヴァティエーナ組曲」「アルハンブラ宮殿の想い出」他。無料。☎(520)0200のミュージザ川崎シンフォニーホール。

●第1回ランチタイム・クラシックコンサート

～東京交響楽団員による室内楽コンサート

10月13日(水)12時10分開演、ミュージザ川崎シンフォニーホール。出演は大谷康子(ヴァイオリン)ベアンテ・ボーマン(チェロ)榎本潤(ピアノ)。曲目は「チゴイネルワイゼン」「白鳥」他。1回券500円/回数券3000円(7枚綴り)。☎(520)0200のミュージザ川崎シンフォニーホール。

●玉川大学公開講座

10月開講の「森のきのこを見る」「実践伴奏法講座基礎」「俳句を楽しむ」「小児救急法講座」など32講座の受講生募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●日本女子大学公開講座

10月開講の「中国文化講座—現代中国・兩岸三地の政治文化」「楽しい押し花アート」などの受講生募集。場所は同大学西生田生涯学習センター。パンフレット無料送付。詳細は☎(945)3323。

●簿記2級能力検定準備講座

11月1日～来年2月10日の月・木曜18時15分、全25回。場所は労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1700円程度。☎10月10日(日)9時から電話で。☎(222)4416。

●手話入門講習会

10月28日～12月16日の毎木曜13時半、全8回。場所は川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館。対象は市内在住および在勤・在学の方、35人。教材費等実費。☎10月12日(火)必着で、往復はがきに住所、氏名、☎、「手話」と記し、〒214-0012多摩区中野島6-13-5の同館。☎(935)1359。

●市民健康セミナー「見にくい・まぶしい・見えにくくありませんか。不自由を感じている方のケア」

10月23日(土)14時から。会場は中小企業・婦人会館。講師は土屋款・聖マリアンナ医科大学東横病院眼科副部長。看護・処置・薬・福祉の各相談コーナーあり。無料。先着150人。当日直接。☎(722)2121内線521の同病院総務課。

●井田病院ボランティア養成講座

10月27日(水)28日(木)、10時～16時。会場は井田病院かわさき総合ケアセンター。対象は同病院でのボランティア活動を希望する方20人。無料。☎10月15日(金)までに住所、氏名、☎、年齢、職業、受講の動機、希望する活動分野(介護・案内・園芸・図書・未定等)をはがきに記し〒211-0035中原区井田2-27-1井田病院内市民交流委員会。☎☎(766)2188。

●平まなびあいグループAndante講座

「聞く・耳を傾けて」をテーマに講座を開催。場所は宮前区の平こども文化センター。時間は10時～12時。▽10月1日(金)「心のケアを問い直す」。講師は日本社会臨床学会運営委員の小沢牧子さん。▽15日(金)「少年事件とマスコミ」同運営委員の佐々木賢さん。▽29日(金)「子どもの居場所」かわさきチャイルドライン代表の岡崎チズルさん。各1000円。3歳以上の有料保育あり。☎☎・Fax(865)8056の堀内さん。

●クリエイト科学館一般公開

10月10日(日)13時半。常設展示物の解説と科学道具の公開。工作コーナーあり。場所は麻生区黒川の発見工房クリエイト。予約制。対象は小学4年～大人。入館費大人800円、小・中学生500円、工作材料費200円。☎☎(981)1892。

●東芝科学館実験教室①GEMS探検隊②ガリレオ工房

①は10月16日(土)、10時と13時半。「キャベツのミステリー」。対象は午前が小学1年～3年、午後は小学4年～中学生。各30人。②は10月23日(土)、10時と13時半。「脳がとらえる動きのしくみ」。対象は小学校4年以上。各50人。教材費は共に500円。要予約。☎☎(549)2200の同館。

●大人のための秋の朗読会

11月9日(火)13時半、幸文化センター。内容は朗読グループ「レザミ」による文学作品の朗読。定員30人。無料。☎10月19日(火)から☎(541)3915の幸図書館。

●市民プラザ女性テニス教室

11月22日～来年1月24日毎月曜全8回。基本クラスは12時半から、定員28人、9000円。応用クラスは10時から、定員24人、9000円。ゲームクラスは14時20分から、定員20人、10000円。☎10月30日(土)必着で往復はがきに氏名・住所・年齢・☎・希望クラスを記し〒214-0014高津区新作1-19-1同プラザ。☎(888)3131。

●ミニ画廊スナック「琴」①写真展②木版画展

①10月16日(土)までグループきまぐれと後藤明水の作品。②10月16日(土)～30日(土)まで、岡部信之の作品。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎☎(544)0507。

●浮世絵展「明治の女性 橋本周延」

10月4日(月)～21日(木)。川崎区の砂子の里資料館。無料。10時開館。日・祝日休館。☎☎(222)0310。

●ヨルダン展～アラブ世界8000年の文化遺産

11月7日(日)まで世田谷美術館。毎月曜休館。田園都市線「用賀」駅下車。観覧料は、一般1200円、高・大学生700円、小・中学生200円、65歳以上400円。☎☎03(5777)8600。

◆お詫び◆ 9月号イベントパーク欄「中村正義生誕80年・秋展」の電話番号が違っていました。正しくは(953)4936です。訂正してお詫びします。